

高知県介護支援専門員連絡協議会 理事会 次第

記載者：藤原玲子

開催日時：令和4年7月15日（金） 18：00～21：00

開催場所：web 会議 (ZOOM)

理事出席状況： 8 / 1 2

廣内一樹(会)	出					橋本由枝(監)	出	伊賀大輔(監)	
藤原玲子 (副・研修)	出	矢野泰三(研★)	出	中山智彦(研)	出	森田絵美(研)	欠		
		藤田佳也(指★)	欠						
山下等生 (副・事務)	出	山崎茜(財★)	欠						
		濱口和孝(総★)	欠						
山本星 (副・事業)	出	平林安佐子(厚★)	出			岩下美香(広★)	出		

参加ブロック長：山本千草（東部）・近藤純加（中央東）・大庭憲史（高知）・織田ひとみ（中央西）・福地栄信（幡多）

【報告事項】

1. 個別避難計画への協力（高知県地域福祉政策課近藤さんより）

基本は市町村作成。ケアマネが持っている情報（緊急連絡先、薬情、病院）など計画作成時や避難訓練参加に3,000円、同意書取得に1,000円の予算あり。

協力体制の構築として県の協議会と協定を結ぶことは可能か、もしくは県の協議会からケアマネへ協力について周知していただけないか。

（意見）

- ・計画をケアマネが持っておくことが可能か
- ・同意は市町村が貰う、同意欄にケアマネから情報をいただくことがあると記載があれば良い

協議⇒上記2点がクリアできるのであれば賛同する。今後担当理事を囁める可能性もあり。

2. 事業部会討議内容報告（事務局：山本副会長）

広報・厚生調査部で活動内容の検討を行った。

- ・賛助会員からの広報費を頂くためのマニュアル作成を行う。四国ブロック大会から始める予定。
- ・会員増を図る。協議会のPR動画の改善を行う。
- ・ふくし総合フェアでの一般向けPR動画の作成を検討。（ナレーションや編集・音楽演奏が得意な方募集）

3. 今年度の研修予定、進捗状況報告（研修局：藤原）

令和4年7月6日研修打ち合わせを行った。（添付資料参照、その後の報告）

- ・主任ケアマネ研修（矢野理事・大庭ブロック長より補足説明）は高知ブロックと高知市の協議会で共催となる。理由は会場の都合上、県下全域の対応・非会員の確認・ハイブリッド研修が難しいため。
- ・ケアプラン点検研修予定講師のスケジュールが押さえられない状況。
- ・メールアドレス収集・会費引き落とし・アンケート収集について今後議題に上げる。
- ・四国ブロック大会についてはチラシ、パネリスト募集案について作成済み。

4. 日本介護支援専門員四国ブロック研修大会の他県からの意見（会長：廣内）
 - ・テーマはタイムリーで良いとの意見。3月5日（日）に決定。
 - ・講演の内容から講師の情報として四国厚生支局、ICT化で先進的な取り組みの RICOH など。
5. その他
 - ・日本協会生涯学習委員会からの報告（藤原）
 - ・日本協会研修のBCP作成研修、虐待防止研修についてはIPに掲載。

【協議事項】

1. 介護総合フェアでの依頼内容について（会長：廣内）

長寿福祉課より、学生からの作文への賞を県協議会でお願いできないか依頼を受けた。
今までは老協協から図書カード2,000～2,500円×6名。作文を精査して賞を付ける。

 - ・協議会からのPRの時間はあるか。
 - ・広報（IPなど）に使えるか。

⇒詳しい内容を確認して検討
2. 地域活動支援費の今年度の算出について（事務局：山下副会長）

15%据え置きから25%増額での試算を画面上で説明
（意見）

 - ・会員数が減っている中増額で予算は大丈夫か。
 - ・ブロックによっては会員数が少なく、活動費に困るところもある。下限ラインを作ってはどうか。
 - ・来年以降、会員数ではなく年間の計画を立てて予算をとるようにしてはどうか。ルールを変えても良いのではないか。

⇒4月から4か月間事務員不在であり、25%で予算的には可能。規約変更になる可能性あり、山下副会長が確認する。
3. 研修協力をお願い（研修局：藤原）

今年度の研修について予定の立て直しが必要。アンケート内容見直し、主任ケアマネスキルアップは白木先生での意見が多数。その他はBCP、ICTが多数の他に他職種連携、家族支援などの意見が多かった。

（意見）

 - ・白木先生に県の協議会としてもう一度お願いしては。安芸市が平日2日間押さえているので、その前後に計画してはどうか。今までも2日間をお願いしていた経緯あり、来年度も踏まえて。
 - ・他職種連携についてはリハ職や介護職の職能団体に働きかけてはどうか。
 - ・家族支援については県立大看護学部へ相談すると良いと思う。
 - ・伝達研修についてはどうなっているか。
 - ・ZOOMを希望している方も多く、今年度もZOOM研修をお願いしたい。
 - ・ケアプラン点検については別の講師も。（織田さんよりLINE）

⇒主任研修は藤原から白木先生にお願いする。難しければケアマネジメント学会から講師を紹介してい

ただく。

⇒伝達研修については、藤原から日本協会へパワポ使用許可とDVDで再確認希望の旨を連絡する。

⇒その他については再度研修局に持ち帰る。来年度の計画も立てる。

⇒理事・ブロック長も協力いただける。

⇒アンケートについては厚生調査部で協力可能。

4. 各ブロック主催の研修を県会員に反映できる方法。その際のブロック外会員の研修参加費をどう扱うか。ブロック外への研修案内をどのようにするか。企画研修ジャンルバランスの調整はどうするか。(織田ブロック長))

(意見)

・全会員にハガキを送るのは、宛名をだす作業など人の管理が事務員不在では難しい。

(事務局パソコンは山下副会長管理、会員の管理は山本副会長)

・現金徴収は効率が悪い。研修までに入金が無く、あとで入会手続きを忘れることでトラブルも。

⇒ブロック研修案内については県の協議会からはメールとHP、Facebookで行う。

① ブロック研修計画書のHPへの掲載箇所欄に✓を入れ、HP・Facebookに載せる資料を事務局に送る。

② 事務局山下さんから副会長から山本副会長に資料を送る。

③ 岩下理事がHPへ、山本副会長がFacebookにデータを掲載する

④ 山本副会長からアドレス収集のできている会員のメールアドレスを山下副会長に送る。

⑤ 山下副会長が協議会 (infoメール) から一斉送信する。

⇒参加費はブロックで管理する。修了証書については今まで通り。県の協議会で印刷まで行い、ブロック長に郵送する。

5. その他

四国ブロック大会について

テーマは「ケアマネの働き方改革 (仮)」として、次回7月26日実行委員会で話し合いを行う。

(チラシ、パネリスト案内案はメールで実行委員に送るので、会までに確認をお願いします)

次回理事会：山本副会長より調整

場所：ZOOM